

7 車両

番号	対策の名称
⑦	事業者連携による効率的な輸送推進
内容	トラック運送業の従事者は中高年層の男性が多く、今後、深刻な労働者不足が懸念されています。この解決に向け、労働者不足の一因となっている「厳しい労働環境」の改善が必要です。 ドライバーの労務負担を軽減する方法のひとつとして「中継輸送」があります。中継輸送とは、一人の運転者が一つの行程を担うのではなく、一つの行程を複数人で分担する働き方です。 〈他社と連携した共同中継輸送の例〉 関東地方の事業者と<u>共同</u>で、「共同中継輸送」を実施しています。 それぞれの自社拠点から中間となる地点を中継拠点とし、ドライバーを交代します。 本取組は、働き方改革の取組として、客先や国土交通省等から評価されています。
効果	ドライバーの拘束時間が短縮され、長時間労働を抑制できます。 労働環境の改善により、人材確保につながります。
ポイント	実施時は、主な検討として以下が必要です。 ・他社との実施に当たり、協定の締結や車両保険、ドライバー教育等の調整 ・ドライバーの作業工程等のスケジュール見直し ・慣れない他社の車の運転による「ドライバーストレス」の解放方法